別記様式－１

ＩＣＴ活用工事計画書【ブロック据付工】

（工事名：〇〇港〇〇地区〇〇工事）

会社名：〇〇〇〇建設（株）

当該工事のブロック据付工において、ICTを全ての施工プロセスの段階で活用する場合、「□全て活用する」のチェック欄を「」と記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| チェック欄 | 施工プロセス段階 | | 適用技術・機種 |
| 全て活用する | ①ICTを活用した施工 | ・被覆ﾌﾞﾛｯｸ据付  ・根固ﾌﾞﾛｯｸ据付  ・消波ﾌﾞﾛｯｸ据付 | ・施工箇所のリアルタイムでの可視化  ※採用する技術については、受注後の協議により決定する。 |
| ②３次元出来形管理 | | ・マルチビーム及びUAV等を用いた3次元測量（完成形状把握）  ・UAV等を用いた3次元測量による出来形管理  ※採用する技術については、受注後の協議により決定する。 |
| ③３次元データの納品 | |  |

注１）ICT活用工事の詳細については、特記仕様書によるものとする。

注２）「□全て活用する」のチェック欄に「」と記載された場合のみ、加点評価の対象とする。

注３）「ICTの活用」において加点評価された場合、本表の「適用技術・機種」欄に記載した技術・機種に適用する「有用な新技術の活用」または「技術開発」については重複評価しない。

注４）本表適用技術・機種欄に掲載するICTを工事に活用する場合、技術提案（施工計画）では評価対象としない。

但し、本表適用技術・機種欄に掲載するICT活用施工に掛かる技術を応用（別の技術を組み合わせて効果を高める、または別の効果を発現する等を含む）した技術提案は、その応用部分（付加的な内容）についてのみ技術提案（施工計画）での評価対象とする。

注５）特記仕様書により指定した技術については、評価項目・技術提案ともに加点・評価はしない。